

## 研究に関する情報公開

＜人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針＞に基づき、研究の実施について情報を公開します。

★本研究に関するご質問等がありましたら下記の＜お問い合わせ窓口＞までご連絡ください。

★ご希望があれば、他の研究対象者※の方の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧いただくことができます。

★試料・情報が当該研究に用いられることについて、研究対象者若しくは研究対象者の代理人の方にご了承いただけない場合には試料・情報を使用いたしませんので、その際は下記の＜お問い合わせ窓口＞までご連絡ください。その場合でも、研究対象者の方に不利益が生じることはありません。

<p>＜研究課題名＞</p> <p>Heart Risk View-X より得られる血流指標および左室機能指標に関する精度検証</p>
<p>＜研究機関・研究責任者名＞</p> <p>日本大学医学部附属板橋病院 循環器内科（研究責任者） 依田 俊一</p>
<p>＜研究期間＞</p> <p>機関の長の初回許可日                      ～                      令和 11（西暦 2029）年 3 月 31 日</p>
<p>＜対象となる方＞</p> <p>2009 年 4 月から 2020 年 12 月の間に日本大学医学部附属板橋病院循環器内科にて、心筋血流シンチグラフィを施行した患者さんのデータを使用します。本研究の対象となられる患者さんで本研究にご賛同いただけない方は、下記の＜お問い合わせ窓口＞までご連絡ください。</p>
<p>＜研究の目的＞</p> <p>心筋シンチグラフィでは、左心室の血流を示す画像から得られる血流指標のほか、左心室全体の機能を反映する指標や左心室の同期不全を反映する様々な指標を得ることが出来ます。これらの指標は、心筋シンチグラフィによって得られた画像を専用のソフトウェアで解析して算出されます。本研究は、新しく開発された解析ソフトウェアから算出される上記の各指標を従来のソフトウェアのものと比較することによって、精度や正確さを検討することを目的とした観察研究です。。</p>
<p>＜研究の方法＞</p> <p>本研究では、同一の心筋シンチグラフィの画像データを従来使用されているソフトウェアと新しく開発したソフトウェアを用いて解析し、各ソフトウェアから得られた血流指標、左心室の機能指標および左心室の同期不全指標の数値を比較し、両者の整合性を検討します。個人情報やプライバシーの保護について十分配慮して行います。</p>
<p>＜研究に用いる試料・情報の項目＞</p> <p>この研究では、心筋シンチグラフィの画像データから上記の各指標を取得し、研究に利用します。同意撤回後のデータの取り扱いについては、公表前に申し出があればデータを削除しますが、<b>公表後のデータの修正・削除は出来ません。</b></p>
<p>＜お問い合わせ窓口＞</p> <p>日本大学医学部附属板橋病院（東京都板橋区大谷口上町 30-1）          循環器内科                                      氏名：依田 俊一          電話：03-3972-8111    内線：(医局)2412    (PHS)8054</p>

※研究対象者とは、以下に該当する方（死者を含む。）を指します。

①研究を実施される方

②研究に用いられることとなる既存試料・情報を取得された方